

議事

(1) 笠間市子ども・子育て支援事業計画について（策定方針案）

意見等	事務局等
<p>○今回のアンケートの中で幼児教育無償化に関する設問が必要だったと思う。県内の自治体でも無償化による影響が出始めている。無償化に関する保護者調査を実施している自治体の事例もある。</p> <p>○アンケートの市独自項目は前回アンケートと同じ設問か、今回に新たに設定したものか。子どもの年齢によって保護者の意向は異なるため、きめ細かな集計をお願いする。</p>	<p>○今回のアンケート設計で幼児教育無償化に関する設問を検討したが、その時点では幼児教育無償化の制度設計が確定していなかった。そのため、混乱を避けるため、最終的には設問を設けないこととした。</p> <p>○今回の市独自項目は新たに設定したものである。各設問は回答選択式を多くしており、保護者意向が把握できると考えている。次回の子ども・子育て会議で年齢別等のクロス分析結果を報告するので、施策検討の基礎データとして役立てて欲しい。</p>

(2) 大沢保育園増改築に伴う利用定員の変更について

意見等	事務局等
<p>意見なし</p>	

(3) いちご保育園（小規模保育施設）の内容変更について

意見等	事務局等
<p>○意見なし</p>	

(4) 平成31年度 保育所等の利用定員について

意見等	事務局等
<p>○幼稚園の入園が減少する中で頑張っているドレミ幼稚園の3～5歳の利用人数を教えて欲しい。</p>	<p>○4月入所予定で、3歳児4名、4歳児8名、5歳児9名である。</p>

(5) 平成31年度新規事業について

意見等	事務局等
<p>【保育士就労支援補助事業について】 ○保育士就労支援補助事業の見込み人数を教えて欲しい。</p>	<p>○18人を想定している。</p>

意見等	事務局等
<p>【在宅子育て支援事業（ママ・リフレッシュ事業）】</p> <p>○ママリフレッシュ事業の託児方法を教えて欲しい。託児室が同じ部屋の場合、母親が落ち着いて受講できないことも多い。</p> <p>○以前、笠間市で同様な講座を行った際、別室で泣いている子どもの親が呼び出されるケースもあった。よい事業なので、託児の工夫は必要になる。</p> <p>○これまでの経験から、親と離れることに抵抗のある子どもも多く、別室での託児は難しい面もある。また、口コミ等で在宅子育て世帯以外の保護者が受講を希望することも想定される。</p> <p>○1講座の定員10人は少ないと思う。講座を機会にピア（親同士）での交流に発展することを期待したい。こもりがちな保護者が講座に参加する工夫をして欲しい。</p> <p>【任意予防接種費用の助成について】</p> <p>○任意予防接種費用の助成についての周知方法を教えて欲しい。</p> <p>○周知はホームページでも実施するか。最近は何覧板が回らない家庭も多い。</p>	<p>○実施方法は本日の意見を踏まえてさらに検討する。現時点では託児室は別室を予定しているが、状況を見ながら、別室、同室等の最善の方法を検討していく。</p> <p>原則は在宅での子育て家庭が対象だが、受講要件をあまり厳格にせず、対象以外の受講希望者を拒否しないよう考えていきたい。当面は託児10人が上限であるため、定員10人で実施するものの、状況次第で増員も検討する。市として、講座から受講者の自主的なネットワークに発展することも期待している。こもりがちな保護者が参加するよう工夫も検討する。食事を含む講座は調理室で実施する。</p> <p>○ロタウィルス・おたふくかぜの任意予防接種は健診事業等で周知する。成人風しんは広報、ホームページ、アプリ等で周知する。国の風しん予防接種は対象者にクーポン券を発行する予定である。</p>

(6) その他

意見等	事務局等
<p>○幼児教育無償化の事務局説明を聞いて、容易に理解できないと感じたので、アンケートでは混乱するという意図は理解できた。しかしながら、無償化の制度を理解した場合、保護者の意向も変化するので、0~2歳保護者意向の把握をお願いしたい。</p> <p>様々な考えを持つ保護者がいるので、ママリフレッシュ事業は当事者同士の交流だけではなく、子育て中のストレスを軽減する子育て方法等について、専門家の講義や支援も必要である。</p>	<p>○ママリフレッシュ事業の講師は調整している。本日の意見を踏まえて実施方法を検討していく。</p>

意見等	事務局等
○市の取組は素晴らしい面も多い。幼児教育無償化についても保護者意向の丁寧な把握をお願いします。	

次回会議日程

平成31年6月～7月頃を予定します。